

第2学年 道徳学習指導案

日 時 平成28年11月1日（火）2校時

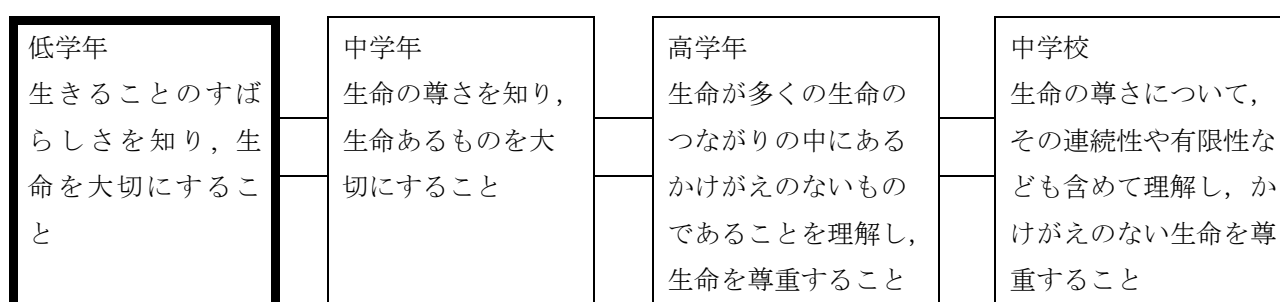
対 象 2年生 19名

授業者 工藤 田鶴

- 1 主題名 生命のつながり（D 生命の尊さ）
- 2 教材名 「ゆきひょうのライナ」（「みんなのどうとく 2年」東京書籍）
- 3 主題設定の理由

（1）道徳的価値について

第1学年及び第2学年の内容の「D 生命の尊さ」は、「生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること」とある。これは、生命あるすべてのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることである。この内容項目は、次のように発展していく。



かけがえのない生命を大切にすることは、かけがえのない生命そのものに気づくと同時に、一生懸命生きるという自覚をもつことが大切である。日常の中で元気いっぱい活動し、友達と生きることの喜びを共有し、健やかに成長していくことが一生懸命生きることに繋がっていく。生きることは、生命を輝かせながら、生き続けることである。

そのために、何が必要か、どう生きていくかを考えさせ、生命を大切に一生懸命生きるという気持ちを育てていきたい。

（2）児童について

生きるためには、何が必要かを考えられるようにするために、生活科「生きものなかよし大作せん」の学習では、ザリガニやカタツムリ、ダンゴ虫などの飼育に必要なものを考えさせた。児童は、餌やすみかを調べて世話をし、大切に育てた。ザリガニが餌を食べなくなって死んでしまったときは、飼育続けることの難しさや生命がつかない悲しさを感じた。また、国語科「どうぶつ園のじゅうい」の学習では、獣医が、痛みや辛さを見せない動物に対して、生命を守るためにどんな工夫をしているかを考えさせ、生命を大切にしていることを学んだ。

一方、「食に関する指導」においては、元気な体を作るために、栄養バランスよく食べることを学んだが、給食の実態は、苦手な味のものや野菜などを極端に減らす児童が依然として見られる。この一例からも、一生懸命生きるという気持ちが実感を伴って育っているとは言えない。

これらの児童の学びから、生命には限りがあるからこそ、生命を大切にしなければならないという心情を身に付けてきたが、その大切な生命をはぐくみ続けるためには、何が必要か、どう生きていくかを考えさせることが必要であり、一生懸命生きるという気持ちをさらに育てていきたい。

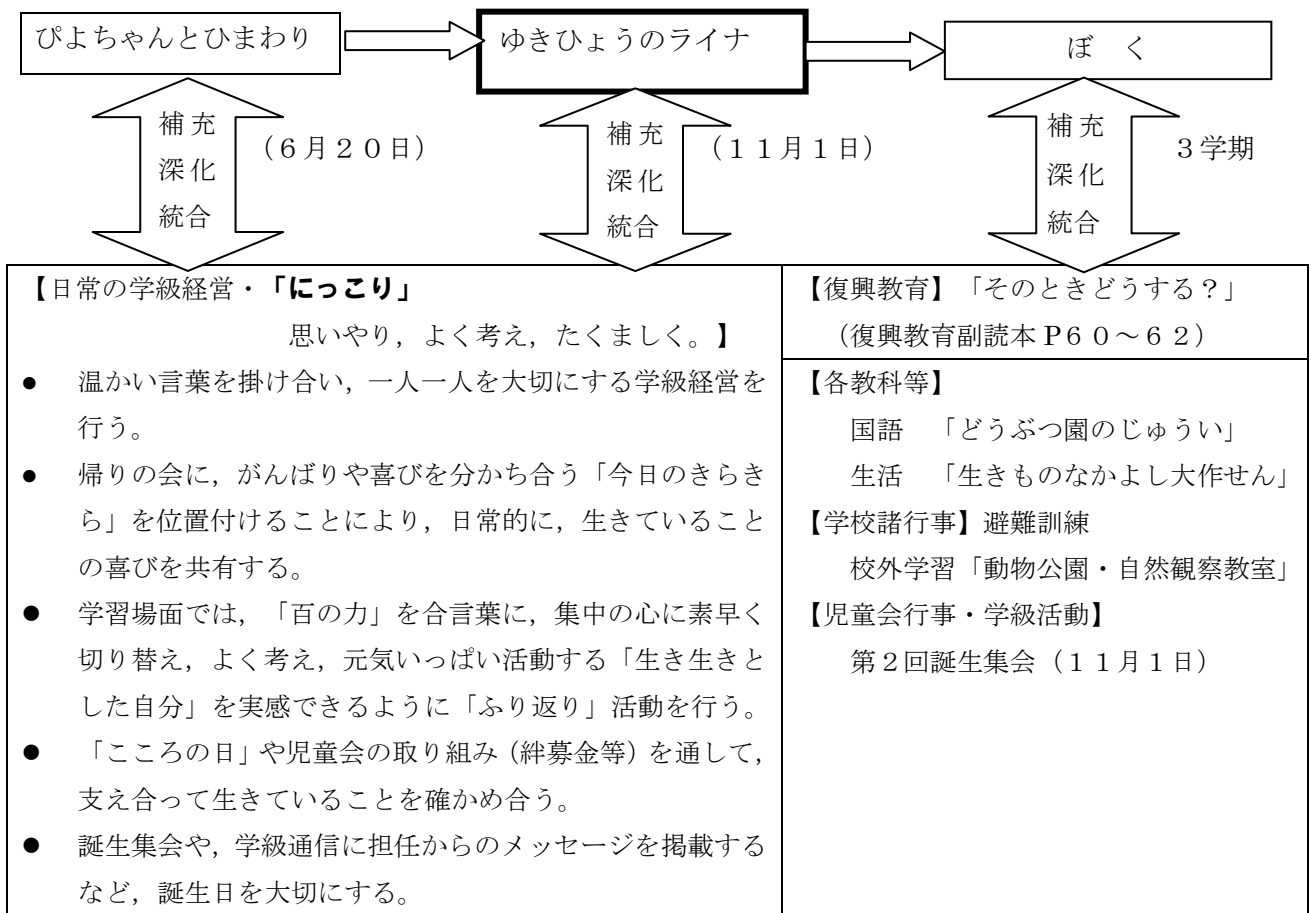
(3) 教材について

生命を大切に生きていくことについて、何が必要か、どう生きていくかを考えさせるために、きつねの言葉を聞いて悲しくなった主人公ライナの思いを考えさせたい。本学級の児童に対して「生命を大切に生きていくために必要なこと」や「どう生きていくかについて考える」という視点から教材を活用していく。

そこで、食べられなければ生きていけないという状況に出合ったとき、どう思うか考えさせたい。食べることは、ときに他の生命をいただくことでもあるということ、自分との関わりで考えさせたい。だからこそ、どう生きることが大切なのか、それを議論することができるのが、この「ゆきひょうのライナ」であるとする。

(4) 各教科等との関連

【道徳の時間】



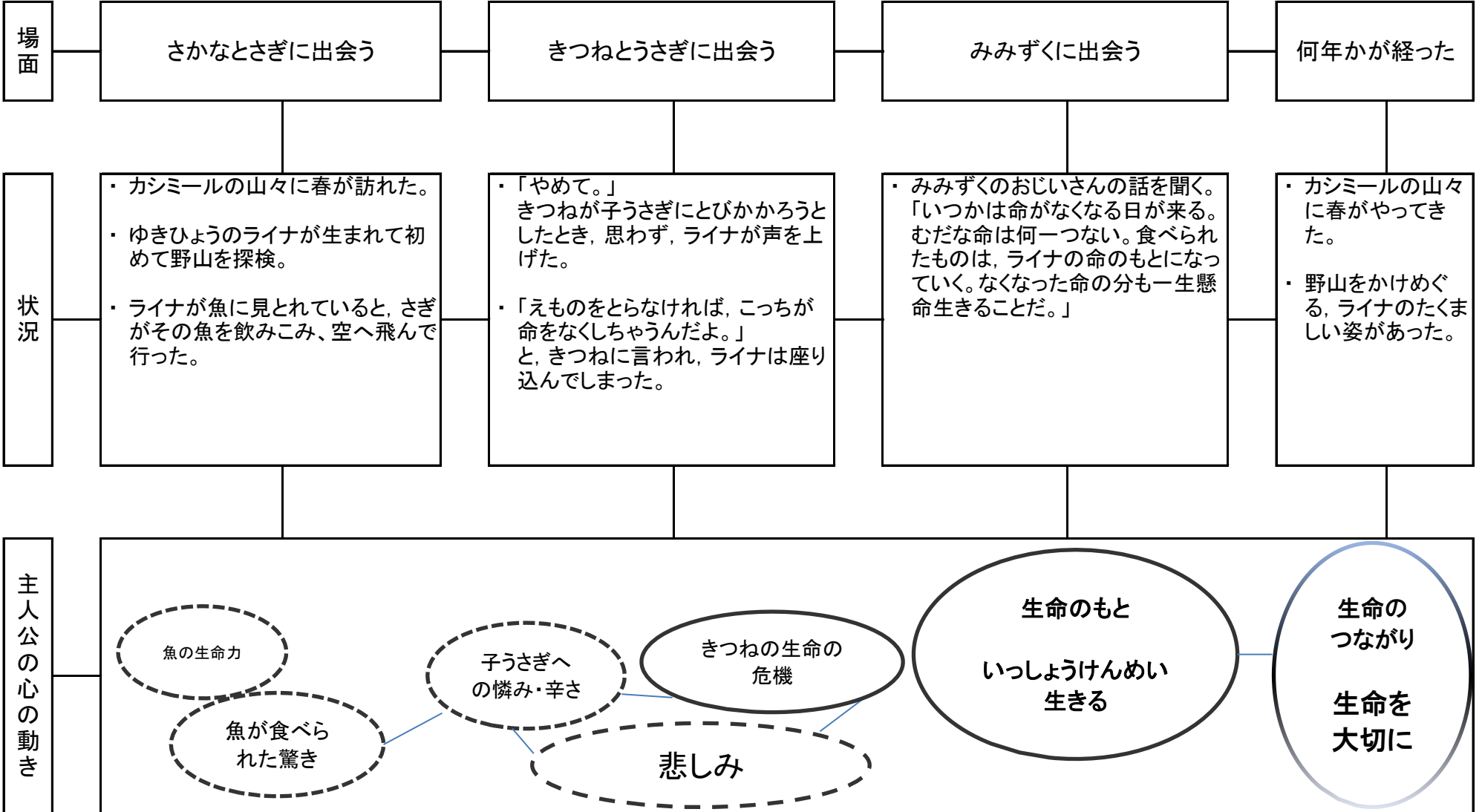
<p>広 げ る 17 分</p>	<p>3 道徳的価値理解を もとに自己を見つめる。 ○これまでは、命のも とになる食べ物の ことも考えて一生 懸命生きてきまし たか。これからは、 どうですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、ただ肉や魚を食べていたので、これからは、食べたもの分まで一生懸命生きていきたい。 ・わたしは、作ってくれた人には感謝して食べていたけれど、食べものにも感謝して、一生懸命生きていきたい。 ・ぼくは、苦手なものを残して、食べものを無駄にしていたから、これからは、少しずつでも食べられるようになって、元気な体を作る気持ちで生きていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の生き方についての考えを深めさせるために、これまでの自分が一生懸命生きてきたかどうかを想起させ、これまでの自分に足りなかったことやこれからの自分に必要なことを「ねむの木ワークシート」に記述させる。 ・友達の考えを聞き合うことで、一生懸命生きる気持ちにも、多様な考え方があることを理解し合い、一人一人が自己の生き方について深く考えたことを評価する。
<p>ま と め る 3 分</p>	<p>4 今日の学習で学 んだことを振り返 り、一生懸命生きて 成長したゆきひよ うの写真映像を見 る。 ○ライナの成長を 見てみましょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・板書をもとに、ねらいとする道徳的価値を視点に自己を見つめることができたことを共有する。 ・道徳的価値理解を深めるために、獲物の生命の分まで一生懸命生きてたくましく成長したゆきひょうの写真映像を紹介する。

(3)教材の吟味

教材名「ゆきひょうのライナ」
 出典 みんな たのしく とうとく 2年 東京書籍

ねらい

食べられなければ生きていけないという状況に出合ったときの気持ちを考えることを通して、生命を大切に一生懸命生きようとする心情を育てる。



5 第2学年 推進計画1(重点内容項目)

学期	重点内容項目	A 希望と勇気、努力と強い意志		D 生命の尊さ		B 思いやり・親切	
		自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかり行うこと。		生きることを喜び、生命あるものを大切にすることを。		相手の立場になって考え、思いやりを持って接すること。	
一学期	目指す子ども像	自分がやらなければならない勉強や仕事をしっかり行うことの大切さを理解し、実行する子ども。		命の大切さに気づき、生命を大切にしようとする子ども。		幼い人や友達に温かい心で接し、思いやりの心をもって親切にしようとする子ども。	
	道徳の時間	主題・資料名・出典名	がんばれ ポポ (学研)	主題・資料名・出典名	ぴよちゃんとひまわり (学研)	主題・資料名・出典名	くまのたからもの (東京書籍)
	ねらい	親の保護に頼るばかりでなく、つらくても自分がやらなければならないことは、あきらめずに最後までやりとげようとする心情を育てる。		ひまわりの赤ちゃんたちが花を咲かせたのを見たひまわりの気持ちを考えることを通して、生命が受け継がれていくことに気づき、生命の大切さについて深く考えようとする心情を育てる。		幼い人や友達に温かい心で接し、思いやりの心をもって親切にしようとする心情を育てる。	
	各教科との関連	① 国語 単元名「スイミー」 大きな魚を恐れ岩陰に隠れている魚の兄弟たちに、あきらめないで努力することを教え、大きな魚を追い出すことに成功したスイミーのお話から、自分の責任を果たすことや、努力することのすばらしさを学び、自分もそうありたいと思う。 ② 業間マラソン 自分の目標を立て、それに向かい精一杯走り、暑い日であっても、疲れていてつらいときであっても、やり遂げる。		① 生活 単元名「野さいをしゅうかくしよう」 ミントマトや野菜の収穫を喜び、おいしく食べられることに感謝する。また、実がなり種がなり、次の命につながっていくことを知る。 ② 生活 単元名「生きものなかよし大作せん」 昆虫などの生き物を飼い毎日世話をすることで、身近な生き物への思いを深め、生命のあるものを大切にすること。 ③ 復興教育「生きのこったイトヨ」 震災を乗り越え、生き残ったイトヨの話聞き、生命のつながりの大切さを深める。		① 生活 単元名「なかよし学校あんない」 1年生とペアを組み、校舎を案内しながら、職員室の入退室の挨拶などを優しく教える。これ以降も、一緒に遊んだり困っているときは助けたりし、思いやりをもって優しく接していく。 ② 学校行事「運動会」 ダンスや競技などの取り組みを通し、頑張っている1年生や友達を認めたり励ましたりしながら、一緒に頑張る。	
二学期	目指す子ども像	自分で決めたことは、くじけずに最後までやり遂げようとする努力する子ども。		「食」を通して命のつながりや大切さに気づき、生命あることに感謝して精一杯生きようとする子ども。		相手の立場に立ち本当の気持ちを考えて、励ましたり助けたりできる子ども。	
	道徳の時間	主題・資料名・出典名	さかあがり できたよ (東京書籍)	主題・資料名・出典名	ゆきひょうのライナ (東京書籍)	主題・資料名・出典名	公園のおにごっこ (学研)
	ねらい	自分で決めたことは、最後までやりとげようとする意志を育てる。		食べられなければ生きていけないという状況に出合ったときの気持ちを考えることを通して、生命を大切に一生懸命生きようとする心情を育てる。		自分より幼い人や困っている人に対する思いやりの心を持ち、相手の立場に立ち本当の気持ちを考えて、励ましたり助けたりできる心情を育てる。	
	各教科との関連	① 学校行事「校内マラソン大会」 1学期から取り組んできた業間マラソンを基盤とし、マラソン大会で自分の力を出し切り走ることができる。また、走りきったことに満足し成就感を味わう。 ② 算数 単元名「かけ算」 かけ算の練習に一生懸命取り組み、それぞれの段を定着させるたびに達成感を感じながら努力する。九九を全部覚えた自分をふり返り、成就感を味わう。		① 国語 単元名「どうぶつ園のじゅうい」 獣医が生命を守るためにどんな工夫をしているかを考える。 ② 校外学習「どうぶつこうえん・しぜんかんさつ教室」 生活 単元名「生きものなかよし大作せん」 動物たちとの触れ合いや、「しぜんかんさつ教室」をまとめる活動を通して、生命あるものを大切にしようとする。 ③ 学校行事「避難訓練」 災害に遭ったとき、かけがえのない自分の命を守ることができるように、真剣に行動する。		① 生活 単元名「うごくくわしたのおもちや」 身近な材料を使って工夫して動くおもちゃを作り、みんなで楽しく遊べるように遊び方を工夫して、楽しく活動する。 ② 国語 単元名「お手紙」 がまくんの悲しい気持ちに共感励ますかえるくんの優しさに気づき、自分も友達のために進んで親切にしたいと感じる。	
三学期	目指す子ども像	自分がやらなければならない勉強や仕事をしっかり行うことで、自分だけではなく周りの人をおこぼれさせることができることを知り、更に頑張ろうとする子ども。		毎日の当たり前の生活一つ一つが生きている証であることに気づき、生きることを喜び、生命の大切さを自覚できる子ども。		だれに対しても温かい心で接し、相手のことを考えて進んで親切にしようとする子ども。	
	道徳の時間	主題・資料名・出典名	ぼくは「のび太」でした (東京書籍)	主題・資料名・出典名	ぼく (東京書籍)	主題・資料名・出典名	かっぱ わくわく (東京書籍)
	ねらい	なにごとにも粘り強く努力をして、一生懸命にやり抜こうとする態度を育てる。		どんな考えで「ぼく」がいっぱい好きなものは「ぼく」なのか考えることを通して、生きることを喜び、生命を大切にしようとする態度を育てる。		だれに対しても温かい心で接し、相手のことを考えて進んで親切にしようとする態度を育てる。	
	各教科との関連	① 学級活動「1年間のせいちょうをたたえる会」 1年を通し取り組んだ～こころの木～をふり返り、一人一人に咲いた大切な「こころのはな」の成就感を学級全員で確かめあい、さらに大きく咲かせていこうと希望をもつ。 ② 生活 単元名「すてきな3年生になろう」 3年生ではどんな活動をするのかを具体的に学習し、実際に3年生の授業の見学を通して、3年生になることへの希望をもち、勉強や自分の仕事に意欲的に取り組む。		① 児童会行事「第3回誕生集会」 今年度最後の誕生集会に向けて、全員が8歳の誕生日を迎えられたことを喜び合い、育ててくれた親に対する感謝の気持ちを手紙に書く。 ② 生活 単元名「大きくなった自分のことをまとめよう」 大きくなった自分のことをふり返りまとめることを通して、家族に愛され支えられて自分がここまで成長できたことに気づき、家族に感謝する。 ③ 音楽「手のひらをたいてよう」 どの生き物も、みんなががんばって成長し精一杯生きていることを感じながら歌う。		① 体育「冬の体育教室」 グループ内の1年生の世話をするとともに、他の1年生や友達の気持ちを考えて行動し、みんなとなかよく雪遊びを楽しむ。 ② 学級活動「VS活動をしよう」 3学期の学級のめあてとしてVS活動に意欲的に取り組む。自ら進んで人のために何かをすることの喜びを感じる。	

だい二十二かい どうとく

どんな気もちで生きていきたいかを考えよう。

生きていくために、
どうしなければならぬか

- ・つかまえて食べなければならぬ。
- ・子うさぎはかわいそうだし、
食べなければ生きていけないし、……。
- ・わたしたち人間も食べて生きている。

ゆきひょうのライナ
挿絵

- ・食べたものの分までいっしょうけんめい
- ・食べものにかんしゃしていっしょうけんめい
- ・のこしてごめんなさい。
- ・食べられるようにがんばるといふ気もちで

生きていきたい。

いっしょうけんめい生きていきたい。

- これまでの自分にたりなかつたこと
- ・ぼくは、ただ肉や魚を食べていた
 - ・わたしは、作ってくれた人にはかんしゃして食べていたけれど
 - ・ぼくは、にがてなものをのこして、食べものをむだにしていた

これからは

